

# 海外事業

海外売上高は1,810億円と、前期に比べ5.1%減少しましたが、海外売上高比率は23.6%と、前期に比べ2.9ポイント上昇しました。

2008年度下期からの世界的な経済危機の影響を受け、電子部品や汎用インバータなどのコンポーネント品を中心

に売上高が大幅に減少しました。一方、アジア向け発電プラントや、中東向け整流器設備などプラント・システム品は堅調に推移しました。

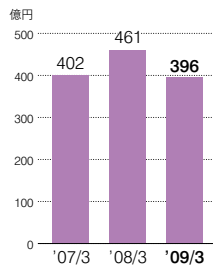
当社グループでは海外事業の拡大に向けて、グローバルな生産・販売体制の構築を推進しています。生産面では、

## 売上高

## 社名 (2009年7月1日現在)

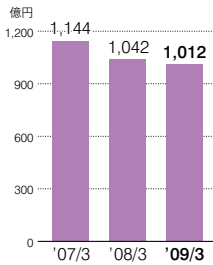
## 主要事業

### 中国



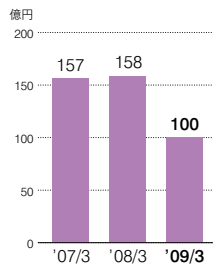
無錫富士電機社	インバータの製造および中国市場でのマーケティング
富士電機馬達(大連)社	モータの製造
上海富士電機開閉社	各種開閉設備、監視・制御装置および関連設備・製品の製造・販売
富士電機大連社	低圧遮断器の製造
富士電機(アジア)社	インバータ、受配電・制御機器、半導体デバイスの販売
富士電機(上海)社	中国生産拠点、生産品の国内販売および輸入販売、中国生産品の輸出
富士電機(深圳)社	感光体の製造・販売
富士電機デバイステクノロジー香港社	半導体デバイス、感光体の販売
宝永香港社	電気機械器具・制御システムおよび電子部品の販売・据付・修理

### アジア (除く中国)



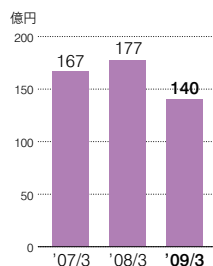
亜台富士電機社	モータ応用製品の製造・販売
富士電機機器制御シンガポール社	東南アジアにおける受配電・制御機器ならびに電子応用機器の販売
富士電機電控社	台湾における受配電・制御機器ならびに電子応用機器の販売
フィリピン富士電機社	半導体デバイスの製造
富士電機半導体マレーシア社	半導体デバイスの製造
マレーシア富士電機社	ストレージデバイス(ディスク媒体)の製造
富士国際電子社	半導体デバイス、感光体の販売
富士電機アジアパシフィック社	電気機械器具・制御システムおよび電子部品の販売・据付・修理

### 北米



富士電機アメリカ社	電気機械器具・制御システムおよび電子部品の販売・据付・修理
-----------	-------------------------------

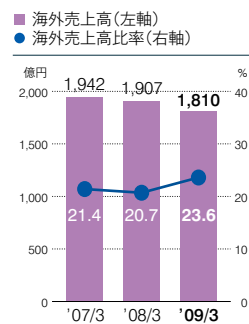
### 欧州



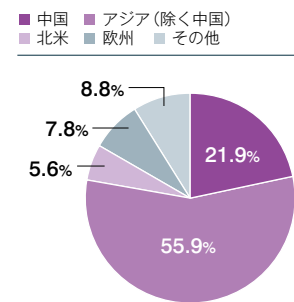
富士電機デバイステクノロジー・ヨーロッパ社	半導体デバイス、感光体の販売
富士電機ヨーロッパ社	電気機械器具・制御システムおよび電子部品の販売・据付・修理

コスト競争力の強化と為替リスクの低減を目的として海外生産移管を進め、販売面では、地域戦略の強化および運営効率の向上を目的として、アジア、北米、欧州の各エリアにおいて海外販売会社の統合に取り組んでいます。

海外売上高／  
海外売上高比率



海外地域別売上高構成比  
(2008年度)



## 地域別事業概況

売上高は、汎用インバータおよび半導体などの需要減により、前期比14.2%減の396億円となりました。

当市場向けでは、2008年7月に設立した管理統括会社（上海市）が主体となり、グループ販売網を活用した営業戦略の策定、中国向け製品の現地での研究開発、現地製造拠点の生産性向上などに取り組み、事業拡大を図ります。

ドライブ事業では、汎用品である低圧インバータや小型モータの中国への生産移管を加速し、コスト競争力の強化を図りました。また、汎用インバータ工場の敷地内に高圧

インバータの工場を建設し、低圧から高圧までの一貫生産体制を構築しました。

半導体事業では、「エネルギー・環境」分野向けの売上拡大を狙い、中国拠点の営業体制を強化し、風力発電、太陽光発電、鉄道向けを重点ターゲットとして、新規顧客獲得に向けた受注活動に取り組みました。

売上高は、インドネシア向け地熱発電プラントやベトナム向け火力発電プラントなど大口案件を計上したものの、ディスク媒体および半導体の大幅な需要減により、2.9%減の1,012億円となりました。

当市場向けの取り組みとしては、半導体およびディスク媒体の製造体制を強化するとともに、発電プラントの受注拡大を図ります。

半導体事業では、マレーシアに産業用IGBTモジュールの製造拠点を新設し、ウエハプロセスから組み立てまでの

一貫生産体制を整えました。今後は、マレーシアおよびフィリピンへの生産シフトを推し進め、海外生産比率を前工程で0%から20%に、後工程で20%から60%に高める計画です。ディスク媒体事業においても同様にマレーシアへの生産シフトを推進し、海外生産比率を50%から75%に高める計画です。

発電プラント事業では、地熱発電プラントにおいて、既に受注実績があり、今後も伸長が期待される東南アジアを重点市場として受注拡大を図ります。

売上高は、ディスク媒体、半導体、汎用インバータなどの需要減により、36.4%減の100億円となりました。

当市場向けでは、ドライブと発電プラントを中心に拡大していきます。

ドライブ事業では、汎用インバータの営業体制の強化と販売網の拡充を行い、搬送、食品、空調分野を中心に拡販を図ります。

発電プラント事業では、地熱発電プラントにおいて、今後の伸長が期待できる有望市場として受注獲得を狙います。

売上高は、半導体および汎用インバータの需要減により、20.6%減の140億円となりました。

当市場向けでは、半導体、ドライブ、太陽電池を中心に拡大していきます。

半導体事業では、欧州拠点の営業体制を強化し、「エネルギー・環境」分野向けに大容量IGBTモジュールの拡販を図ります。

ドライブ事業では、欧州営業拠点の拡充を行い、エレベータ、搬送機械、空調分野を中心に汎用インバータの拡販を図ります。

太陽電池事業では、防水シート一体型や鋼板一体型などプラスチックフィルム基板という特長を活かした用途で拡販を図ります。